



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月19日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東
コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 有川 貞広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 長田 泰賢 TEL 03-6204-0608
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	117,183	1.8	8,672	△0.7	8,672	△0.8	5,226	1.8
24年3月期第2四半期	115,166	0.1	8,733	12.0	8,744	12.8	5,134	15.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,207百万円 (1.8%) 24年3月期第2四半期 5,118百万円 (15.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	167.42	—
24年3月期第2四半期	164.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	676,843	114,605	16.9	3,661.47
24年3月期	640,907	110,069	17.1	3,517.17

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 114,300百万円 24年3月期 109,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	19.50	—	21.50	41.00
25年3月期	—	20.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	1.9	17,000	1.0	16,900	0.4	10,100	7.2	323.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	31,243,223株	24年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	26,024株	24年3月期	26,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	31,217,205株	24年3月期2Q	31,217,230株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年4月26日に公表いたしました連結業績予想を変更していません。
2. 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(第2四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増 減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	115,166	117,183	2,016	1.8
営業利益(百万円)	8,733	8,672	△60	△0.7
経常利益(百万円)	8,744	8,672	△71	△0.8
四半期純利益(百万円)	5,134	5,226	91	1.8
1株当たり四半期純利益 (取扱高)	164円49銭	167円42銭	2円93銭	
リース・割賦事業(百万円)	130,185	138,596	8,411	6.5
金融サービス事業(百万円)	10,726	10,184	△542	△5.1
取扱高合計(百万円)	140,912	148,781	7,869	5.6

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の政策効果により、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、欧州債務問題、世界経済の減速、長引く円高など依然として先行きは不透明な状態が続いています。

このような経済環境の中、当社グループでは取扱高を1,487億円と前年同期比5.6%増加させることが出来ました。主軸であるベンダー営業を中心に、優良ユーザーへの接点強化、復興需要への対応や新規分野の開拓により、優良な営業資産の増大を図りました。

売上高は前年同期比1.8%増加し1,171億円となりました。貸倒費用が大幅に減少しましたが、新リース会計基準による利益前倒効果の低減や長期化する超低金利に伴う営業資産利回りの低下により、営業利益は前年同期比0.7%減少し86億円となりました。四半期純利益は実効税率の低下により前年同期比1.8%増加し52億円と過去最高を更新しました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前四半期 累計	当四半期 累計	増減	前期末	当四半期 末	増減
リース・割賦	112,434	114,142	1,707	8,137	7,892	△244	481,795	491,935	10,140
金融サービス	2,259	2,495	235	952	1,198	246	85,151	87,307	2,155
報告セグメント計	114,694	116,637	1,942	9,089	9,091	2	566,946	579,242	12,295
その他	472	545	73	92	107	15	7,442	10,608	3,165
合 計	115,166	117,183	2,016	9,181	9,199	17	574,389	589,851	15,461

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、優良ユーザーへの提案活動強化やエコカー補助金による車両リースの伸長に加え、環境関連機器など新規分野開拓や復興需要への対応が奏功し、取扱高は1,385億円と前年同期比6.5%増加しました。その結果、営業資産は前期末比101億円増加し、4,919億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比17億円増加し1,141億円となりました。貸倒費用は減少したものの新リース会計基準による利益前倒効果の低減や利回りの低下などにより、セグメント利益は前年同期比2億円減少し、78億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、前期の取扱高が53.9%と大きく伸長したことが影響し、当期の取扱高は前年同期比5.1%の減少となりましたが、101億円と順調に取扱高を確保できたことから、営業資産は前期末比21億円増加し873億円となりました。これにより営業貸付金収入が増加、また売掛金集金代行サービス等の受取手数料も順調に伸長し、売上高は2億円増加し24億円となりました。セグメント利益は前年同期比2億円増加し11億円となりました。

【その他】

その他には、リコグループとの融資やファクタリング取引、及び関連会社の受託技術サービス取引、商品売買取引等が含まれております。売上高は前年同期比73百万円増加し5億円、セグメント利益は前年同期比15百万円増加し1億円となりました。

また、その他の事業の営業資産は、前期末比31億円増加し、106億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報
(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成24年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成24年 9月30日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産 (百万円)	640,907	676,843	35,935	5.6
営業資産 (百万円)	574,389	589,851	15,461	2.7
その他 (百万円)	66,518	86,992	20,474	30.8
純資産 (百万円)	110,069	114,605	4,536	4.1
自己資本比率 (%)	17.1	16.9	△0.2	

【総資産】

総資産は、営業資産が前期末比154億円増加したこと、及びその他の中のその他の営業貸付債権が116億円増加したことなどにより、前期末比359億円増加し6,768億円となりました。

【純資産】

純資産は当四半期純利益52億円の増加と、剰余金の配当 6 億円による減少で、前期末比45億円増加し、1,146億円となりました。純資産は増加したものの純資産の伸率よりも総資産の伸率が大きいため、自己資本比率は前期末比0.2ポイント低下し、16.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第 2 四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日)	当第 2 四半期 連結累計期間 (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△8,432	△31,688	△23,256
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△302	△255	47
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	8,294	31,809	23,514
現金及び現金同等物四半期末残高 (百万円)	1,615	855	△760

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第 2 四半期連結累計期間が84億円の支出に対して、当第 2 四半期連結累計期間は316億円の支出となり232億円の支出の増加となりました。この支出の増加は、リース債権及びリース投資資産の増加額（支出）が前年同期と比較して49億円から75億円へ26億円支出が増加したこと、割賦債権で 5 億円から46億円へ40億円支出が増加したこと、及びその他の営業貸付債権が当第 2 四半期連結累計期間で116億円増加（支出）したことなどが主な要因であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第 2 四半期連結累計期間に比べて47百万円支出が減少し、2 億円の支出となりました。これは主に社用資産の取得によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第 2 四半期連結累計期間82億円の収入から当第 2 四半期連結累計期間318億円の収入となりました。前第 2 四半期連結累計期間においては、借入返済による純支出190億円、コマーシャル・ペーパーの発行による収入280億円、期末配当金の支払額 6 億円を要因として82億円の資金収入となりました。当第 2 四半期連結累計期間は、借入による純収入224億円、コマーシャル・ペーパーの発行による収入100億円、期末配当金の支払額 6 億円を要因として318億円の資金収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成24年4月26日に公表した平成25年3月期連結業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産の社用資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	990	855
受取手形及び売掛金	38	16
割賦債権	47,451	50,034
リース債権及びリース投資資産	428,716	436,138
営業貸付金	92,594	97,916
その他の営業貸付債権	28,876	40,567
その他の営業資産	9,678	9,262
貸料等未収入金	8,012	7,321
その他の流動資産	24,984	30,431
貸倒引当金	△14,581	△11,867
流動資産合計	626,762	660,675
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産	9,137	9,373
社用資産	638	627
有形固定資産合計	9,775	10,001
無形固定資産		
貸貸資産	245	265
その他の無形固定資産	1,693	1,561
無形固定資産合計	1,939	1,827
投資その他の資産		
投資有価証券	679	804
破産更生債権等	—	2,843
その他	1,751	1,985
貸倒引当金	—	△1,294
投資その他の資産合計	2,430	4,339
固定資産合計	14,145	16,167
資産合計	640,907	676,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,414	17,689
短期借入金	97,855	108,932
1年内返済予定の長期借入金	50,684	76,156
コマーシャル・ペーパー	40,000	50,000
未払法人税等	4,904	4,206
割賦未実現利益	3,755	3,876
賞与引当金	715	706
役員賞与引当金	15	—
その他の流動負債	37,714	39,194
流動負債合計	255,059	300,762
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	196,941	182,873
退職給付引当金	579	592
その他の固定負債	3,257	3,008
固定負債合計	275,778	261,475
負債合計	530,838	562,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	91,685	96,241
自己株式	△46	△46
株主資本合計	109,696	114,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	48
その他の包括利益累計額合計	99	48
少数株主持分	273	304
純資産合計	110,069	114,605
負債純資産合計	640,907	676,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	115,166	117,183
売上原価	99,859	102,806
売上総利益	15,307	14,377
販売費及び一般管理費	6,573	5,704
営業利益	8,733	8,672
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	9
その他の営業外収益	11	11
営業外収益合計	21	21
営業外費用		
支払利息	9	7
その他の営業外費用	1	14
営業外費用合計	10	21
経常利益	8,744	8,672
税金等調整前四半期純利益	8,744	8,672
法人税、住民税及び事業税	3,228	4,095
法人税等調整額	356	△681
法人税等合計	3,585	3,413
少数株主損益調整前四半期純利益	5,158	5,258
少数株主利益	23	32
四半期純利益	5,134	5,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,158	5,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△50
その他の包括利益合計	△40	△50
四半期包括利益	5,118	5,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,094	5,176
少数株主に係る四半期包括利益	23	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,744	8,672
賃貸資産減価償却費	2,440	2,700
社用資産減価償却費及び除却損	436	436
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	97	△1,418
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58	△9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	13
受取利息及び受取配当金	△10	△11
資金原価及び支払利息	1,199	1,048
割賦債権の増減額 (△は増加)	△564	△4,627
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△4,934	△7,594
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△4,633	△5,531
その他の営業貸付債権の増減額 (△は増加)	—	△11,691
賃貸料等未収入金の増減額 (△は増加)	276	553
賃貸資産の取得による支出	△3,919	△2,890
仕入債務の増減額 (△は減少)	△761	△1,725
その他	△952	△3,817
小計	△2,518	△25,908
利息及び配当金の受取額	10	16
利息の支払額	△1,313	△1,062
法人税等の支払額	△4,611	△4,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,432	△31,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△316	△264
その他	13	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302	△255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,504	11,076
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	28,000	10,000
長期借入れによる収入	48,033	27,000
長期借入金の返済による支出	△56,609	△15,596
配当金の支払額	△624	△671
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,294	31,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△440	△135
現金及び現金同等物の期首残高	2,056	990
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,615	855

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	112,434	2,259	114,694	472	115,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	112,434	2,259	114,694	472	115,166
セグメント利益	8,137	952	9,089	92	9,181

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,089
「その他」の区分の利益	92
全社費用（注）	△447
四半期連結損益計算書の営業利益	8,733

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2 四半期連結累計期間（自平成24年4 月1 日 至平成24年9 月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	114, 142	2, 495	116, 637	545	117, 183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	114, 142	2, 495	116, 637	545	117, 183
セグメント利益	7, 892	1, 198	9, 091	107	9, 199

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9, 091
「その他」の区分の利益	107
全社費用（注）	△526
四半期連結損益計算書の営業利益	8, 672

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。